

電子書籍サービスを使ってみて!

「電子書籍をこれまで使ったことがない」という学生さんに向けて、お二人の方に、実際に使ってみた感想をお伺いしました!



辻 翔太郎さん 理工学研究科 情報工学専攻 1年次

プロフィール

みなさんは「電子書籍」にどのようなイメージを持っていますか? 私はこれまで、電子書籍の存在は知っていたものの、研究に活用するイメージが持てず、実際に利用したことはありませんでした。今回、このページに登場する機会をいただいたことをきっかけに、電子書籍を実際に使ってみましたので、その感想をご紹介します。

こんなに多くの本が電子書籍で読める! アクセスが簡単!

ピンポイントで知りたいキーワードが記載されている本文へ

今回、調べたい内容について、図書館ウェブサイト①「デジタルライブラリー」からアクセスできる電子書籍サービス「KinoDen」「Maruzen eBook Library」で検索してみました。

まず驚いたのは、幅広い書物に簡単に素早くアクセスできることです。「KinoDen」「Maruzen eBook Library」の検索ボックスに②知りたいキーワードを入力すると、一見関係のないタイトルの書籍でもヒットすることがありますが、そのキーワードが、自分では想定していなかった学術分野の書籍でも使用されていると知り、資料探索の幅が広がりました。検索結果からは、簡単に素早く本文にアクセスすることができました。

紙の本の場合は、知りたいキーワードが記載されている箇所を探し出すことに苦労しますが、電子書籍は、本文内をテキスト検索できるため、ピンポイントで知りたいキーワードについて記載されている箇所にたどり着くことが可能でした。これだと③効率的に資料集めができて研究を進められるな、と感じました。

研究や学習だけではない!?

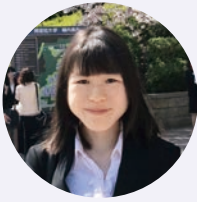
実は、図書館に所蔵されていない電子書籍にアクセスできるという利点もありました。「試読」というボタンを押すと、一定時間、内容を見ることが可能になるのです。

また、私は現在就職活動中ですが、④エントリーシートやSPIといった就職活動に有益な電子書籍が提供されているため、スマートフォンで気軽に読むことができることも、とても便利だと感じました。

まとめ

同志社大学図書館は全国でも有数の蔵書数を誇りますが、電子書籍を活用すると、さらに世界が広がります。まだ電子書籍を使ったことがない方はぜひ、電子書籍サービスで気になるキーワードを検索してみてください。次は「試読」で見つけた電子書籍を購入リクエストしてみたいと思います!

みなさんも、電子書籍を活用して、書籍との付き合い方を見直してみませんか。



高木 桃花さん 生命医科学部 医生命システム学科 2年次

プロローグ

みなさんは、電子書籍を利用したことがありますか？電子書籍の使い方がわからないという人もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回は、私が普段電子書籍を使う場面と、その時に感じたメリットについて書かせていただきました。みなさんの参考になればよいと思います。

電子書籍の特徴 -こういうところが便利！-

数ある書籍の中で、読みたい内容のキーワードが書かれているページを検索できる点や、パソコンひとつでたくさんの資料を読める点が、電子書籍ならではの良い点だと思います。

どんな時に使う？ どうやって使う？

自宅でふと本を読みたいと思い、電子書籍を利用しました。書店や図書館までの移動時間や、目あての本を探し回る時間を省くことができ、より多くの時間を読書に費やすことができました。

また、①レポートを書くための資料を探す際にも、電子書籍は非常に役立ちました。レポートを書く際は、ありとあらゆる資料を探ることが多いです。紙の資料の場合、まず図書館で資料そのものを探し、さらにページをめくりながら探したい内容を見つけ出します。この方法はとても時間がかかり、締め切り直前までレポートの作成が終わらないこともありました。一方、電子書籍では②キーワードを入力するだけで、必要な関連書籍が見つかります。さらに、その関連書籍の中でキーワードを入力することで、知りたい内容が記述されたページにたどり着くことができます。③資料探索の時間が大幅に短縮でき、レポートを書くことに注力することができました。

さらに、④図書館の閉室時間に資料を用いて調べたいと思った際でも、すぐに資料を読むことができたためレポート作成がはかどりました。これからも電子書籍でしかない利点を活用したいです。



図書館からひとこと

- 1 アクセス方法は、学認経由の認証(大学で付与されているIDとパスワードの入力)でOK！
自宅にいる時や通学中に、また図書館が閉館している時などでも簡単に読めます。
- 2 検索したキーワードがタイトルに含まれていなくても、目次や本文等でヒットすることがあるので、思いがけない書籍との出会いもあるかもしれません！
- 3 書籍内のキーワード検索のほかにも、手元に残したいページをPDFで保存・印刷できる場合があります。また、音声読み上げに対応しているものもあります。
- 4 文系・理系問わず、授業やレポート課題の参考となる電子書籍はもちろん、就職活動や語学学習に役立つものも多数揃っています！

「使ってみたい」と思った方は、ぜひ、
<https://library.doshisha.ac.jp/library/dl/guide/eb/> からアクセスしてみてください！
図書館では、電子書籍の購入リクエストも受け付けております。



Maruzen eBook Library とKinoDenの活用方法!

日頃から電子書籍を利用されている学生さんが、どのようにMaruzen eBook LibraryやKinoDenを活用されているのか、また、便利な機能や、おすすめの電子書籍などを、ご紹介いたします!



奥田 耕平 さん
理工学研究科 応用科学専攻

1 大学での勉強・研究のための利用

私は、2020年度の冬から「Maruzen eBook Library」、「KinoDen」の両電子書籍サービスの存在を知り、通学中の電車の中で、スマートフォンを使ってよく利用するようになりました。私は、学部1年生から現在に至るまで、京都市内の実家から京田辺キャンパスまで電車・バスでおよそ1時間30分かけて通学しています。電車・バスに乗っている間は、自身の専門に関するテキストや参考書、学術書をよく読んでいました。しかし、これらの本は大抵分厚く重いため、持ち運びの際に肩を痛める、鞆が壊れるなどの負担も多かったです。

「Maruzen eBook Library」、「KinoDen」の両電子書籍サービスは、スマートフォンとネットが繋がる環境があればどこからでも利用できます。しかも、そのときの気分によって様々なジャンルの本を複数閲覧することができます。実際の本のように、持ち運びの際にかさばることもなければ、重さで身体を負傷することはありません。

必ずしも目当ての本があるとは限りませんが、サイト内で自身の勉強・研究に関するキーワードを検索すると、関連した複数の書籍が表示され、その中から興味をもったものを閲覧できます。まさに、図書館を持ち歩いているという気分で、毎日の通学がとても楽しくなりました。

Recommend

おすすめの電子ブック



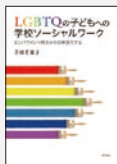
『バイオマス由来の高機能材料
—セルロース、ヘミセルロース、セルロース
ナノファイバー、リグニン、キチン・キトサン、
炭素系材料—』

著編者: 船岡 正光 (著)
出版社: エヌ・ティー・エス



『SDGs時代の学びづくり
—地域から世界とつながる開発教育—』

著編者: かながわ開発教育センター
岩本 泰 / 小野 行雄 他 (編)
出版社: 明石書店



『LGBTQの子どもの学校ソーシャルワーク
—エンバクメント視点からの実践
モデル—』

著編者: 寺田 千栄子 (著)
出版社: 明石書店

2 教養を身につけるための利用

私は、大学での勉強・研究のためだけではなく、色々な教養を身につけたいときにも電子書籍サービスを利用します。もちろん、教養を得るためだけでなく、電子書籍ではなく、ネットでキーワード検索すれば良いのではないかという意見もあると思います。しかし、ウェブサイトにもよりますが、一般的に、本には高い信頼性・作者の情熱・その本だけの視点・読み応え、また、十分な量の情報が並べられているため、その情報に関して全体像を掴むことができるなどのメリットが存在します。そういう点において、図書館に行かなくても、ネット上で書籍として情報が得られる電子書籍サービスは、教養を身につけるツールとしても非常に有効であると考えられます。

3 便利な機能紹介

「Maruzen eBook Library」、「KinoDen」の両電子書籍サービスに備えられている便利な機能として、私は本文の検索機能をおすすめします。自分が調べたいキーワードを入力すれば、その文字が書かれているページが表示され、さらに、その文字にはマーカーが施されるという機能です。実際の本にも、巻末に索引ページが載せられていますが、完全ではなく、探すのに時間もかかります。あるキーワードについて言及されているページを探すという点においては、実際の本よりも電子書籍のほうが勝っているかもしれません。

電子書籍サービスには、保管されている書籍が限られている・閲覧に制限がある・ネット環境によってはページをめくるのに時間がかかる・実際の本とどうしてもギャップがあるため、なんとなく読みにくいなど、様々な課題が残っています。しかし、これらの課題がクリアされていけば、これからの新しい学習形態の1つとして、さらに進歩していくことが期待できます。



今井 貴子 さん
社会学部メディア学科

1 授業での利用

私は授業の予習と復習、特に授業で提示された参考書を読むのにMaruzen eBook Libraryを利用しています。授業中に参考書が紹介されると、少人数の講義ではない限り、多くの人が一気にその本を手に入れようとするわけですから、学校の図書館で借りることが難しくなります。しかも図書館に入っている冊数が少ないとなるとすぐに貸出中になってしまうし、あったとしても京田辺キャンパスのラーネード記念図書館からの取り寄せだと手続きや輸送に時間がかかり、すぐ閲覧することができません。でも、このサービスを使えばある程度貸出状態を気にすることがなくその本にアプローチすることができますし、借りるために図書館に足を運ぶ必要もありません。また、参考書は大概重くて嵩張るものが多いですが、このサービスはスマホでも利用することができるので持ち運びのことについて悩むことが全くありません！授業へのモチベーションを下げることなく勉強することができます。

Recommend

オススメの電子ブック

同志社データサイエンス・AI教育プログラム
DDASH 関連図書にもなっています！



『事例でわかる統計シリーズ：
教養のための統計入門』
著編者：景山 三平（監修）
大田 靖／宿久 洋（編）
出版社：実教出版

「数理・データサイエンス・AI教育」の需要が高まる中、今年度から「同志社データサイエンス・AI教育プログラム (DDASH)」というデータサイエンス教育が開始されました。この本はそのプログラムに組み込まれている授業の一つである「データサイエンス概論」の教科書です (2022年度春学期)。実は春学期の教科書販売で、この本は受講者が多いため売り切れが続きました。私もなかなか手に入れられませんでした。このままだと教科書販売期間が終わってしまうと、頭を抱えていたところKinoDenを開いてみると、なんとお目当ての本が電子書籍で読めることがわかったのです！この時はかなり助かりました。さて本の紹介なのですが、一般的な統計に関する知識や専門用語を図解や例を用いてわかりやすく解説しています。文系だからそういった領域になかなか手を伸ばせないという人でも大丈夫です！私も文系ですが、理解できました！「統計？なんか今後に使えそう」「教養として統計を学んだほうがいいのかも」という軽い気持ちでもとっつきやすい工夫がされた本だと思います。

2 課外での活用

私は3年生なので、来るべき選考のために就活の参考書をサービスを使って読んでいます。よく読んでいるのは、SPIや一般常識の問題集です。更に、私は就活の選考テスト対策と並行してTOEICとHSKの勉強もしています。それぞれ毎日何ページやるか決めてコツコツ取り組むという勉強スタイルをとっているのですが、就活とTOEIC、そしてHSKのテキストを全て毎日持ち歩くとなるとかなり嵩張るし、重くなってしまうのが悩みでした。しかし、電子書籍でもなんとこれらのテキストを閲覧することが可能なのです！問題集から単語帳まで揃っており、総なめコツコツ勉強スタイルの私にとって、それぞれのテキストがスマホ一台で完結してしまうのは大変助かります。欲しいテキストがない時は購入リクエストもできますし、自分の勉強スタイルに合わせてテキストを揃えることができると思います。

3 便利な機能紹介

二つのサービスに共通してある便利機能は検索です。例えば、授業で使われているテキストをこれらのサービスで読んでいるならば、勉強してあるいは講義を聞いていて気になった単語を検索にかけるとその単語が書かれている箇所を瞬時に検索してくれるので、すぐに疑問を解決することができるかもしれません。更に便利な機能はなんといっても読み上げ機能です。一部の書籍には適応されていませんが、これがあることで例えば洗濯物を干しながら、料理をしながらなど手は空いていないんだけど頭は暇な時間を有効に活用することができます。また、一部の書籍はPDFとして保存することもできます。もちろんデータは個人利用の範囲に限られますが、PDFを印刷すれば電子文庫では叶えられない「ここは大事だから手元に残してメモをしたい」や問題集なら「何度も書いて解き直したい」という思いを叶えてくれるでしょう。

授業、研究等で利用したい電子書籍があれば、**リクエスト**を出すことができます！

みなさまのリクエストをお待ちしております！



アクセス
& 検索



Maruzen eBook Library

KinoDen 閲覧できなければ…

リクエスト

購入



閲覧可能！

※購入可否は図書館の蔵書構成等を考慮し図書館が決定します。